

令和3年度 鳥取大学入学者選抜試験問題
(学校推薦型選抜Ⅱ)

小論文

(農学部 共同獣医学科)

出題の意図

出題の意図

問題 1.

1987 年、「環境と開発に関する世界委員会」は、「持続可能な開発」をメインテーマとして 3 年間にわたり活動したその成果を報告書としてまとめ、公表した。題材は、日本からその委員として参加した大来佐武郎氏が監修したその報告書の翻訳本「地球の未来を守るために～環境と開発に関する世界委員会」より抜粋し、一部改変したものである。「持続可能な開発」と「生物多様性」の問題は共同獣医学科への入学を希望する受験生には是非、普段から関心を持って、正しく理解しておいてもらいたい内容であるため採用した。

問 1. 自然科学に関連した一般的な知識を問う。

問 2. 環境問題に関する基礎的知識を問う。

問 3. 高校生として知っておくべき漢字力を問う。

問 4. 生物多様性の問題に関連した基礎的知識を問う。

問 5. 生物多様性の問題に関連した基礎的知識を問う。

問 6. 環境問題に関連した基礎的知識を問う。

問 7. 生物多様性の問題に関連した基礎的知識を問う。

問 8. 生物多様性の問題に関連した基礎的知識を問う。

問 9. 文章の読解力、文章の論理的な構成力を問う。

問 10. 文章の読解力を問う。

出題の意図

問題 2.

題材は National Geographic の 2016 年 11 月号に掲載された記事、および本文中に登場する研究グループらの論文 (Nature 2010 年 464 巻) の付図より抜粋、一部改変したものである。テーマは生命体の有性生殖と無性生殖、および配偶子形成に関するものであり、共同獣医学科への入学を希望する受験生には理解してもらいたい内容であるため採用した。設問は英文読解を基本とし、その中で生物学の基礎知識、論理的思考力、図の理解力、文章構成能力を問うことを目的とした。なお、英文中の専門用語には適宜注釈を付し、英文構成や英文法については、共同獣医学科への入学を希望する受験生ならば十分に理解できるレベルである。

問 1. 英語の語彙力および生物学の基礎知識を問う。

問 2. 生物学の基礎知識および日本語での文章構成能力をみる。

問 3. 生物学の基礎知識および日本語での文章構成能力をみる。

問 4. 英文内容の理解度、論理的思考力、日本語での文章構成能力をみる。

問 5. 英文読解力を問う。

問 6. 英語の語彙力および生物学の基礎知識を問う。

問 7. 英文内容の理解度、図の理解力、生物学的知識の応用力、日本語の文章構成能力をみる。